

医学部6年間で得た宝物の一つ

市立函館病院 初期研修医
せきね みそら
関根 美空

初めまして、市立函館病院1年目研修医関根美空と申します。ずっと憧れていた病院で憧れの先輩や先生のもとで多くのことを学び経験させていただき、本当に毎日充実した研修生活を送らせていただいております。

本企画のバトンを渡してくださった田中柚妃先生は、大学時代の困難を共に乗り越え、医学以外にも多くのことに励んでおり私自身何度も刺激をもらった大切な友人です。このような貴重な機会をいただきありがとうございます。

エッセイのテーマは自由とのことで、今回は大学6年間で得た座右の銘についてお話ししたいと思います。

私は大学1年生のころに国際医学生連盟(IFMSA)という医療系学生団体に所属しました。留学や小中学生への性教育、公衆衛生や人権、医学教育について考える、プレゼンテーション技術を鍛えるなど医学以外の様々な分野で活動しているWHO公認の世界的な団体です。

そこでは学年・学部を問わずに多くの仲間が集まり、勉強会やイベントを開催し、医学部だけでは学べない社会勉強やコミュニケーションスキル、1人1人とにかく個性的な学生との出会い、汗も涙も流しながら何かを作りあげる喜びを何度も経験しました。

毎週末本州へ行ってイベントを行ったり、新型コロナウイルスの影響で制限はありましたがギリシャに留学へ行ったり、今まで出会ったことのない仲間とオンライン上で1からイベントを作り上げたり、もともと内気な性格だった私では考えられないようなたくさんの思い出ができました。

「やらぬ後悔よりやる後悔」、これが私の6年間で身をもって感じ、得た座右の銘です。何か思いついてやりたいことがあったとき、声を上げてみると意外にも応援してくれたり一緒にやろうと集まってくれたりする仲間がいるものです。

「サイゼリアで1万円分食べよう」



札幌西高校、札幌医科大学を卒業し現在は市立函館病院にて1年目研修医として働いております。写真は卒業旅行で沖縄に行った時のものです。旅行、食べることが大好きでGoogle mapを開いては行きたいところや食べに行きたいところをクリップして思い立った時にふらっと行っています。

「100円回転寿司で全メニュー制覇」「コスプレをして名古屋ー山梨ー東京ヒッチハイクの旅」

これは学生時代に実際に出会った仲間とともにやったことの一部です。

直近の挑戦としては、6年間にたった1度のマラソン経験でありながら10月にハーフマラソンに参加するため毎朝ランニングを始めたことです。最初は5分走っただけでも疲れて歩いてしまっていました。先日10kmまで走ることができるようになりました。ほんの小さなことでもチャレンジし続けると「やってみて良かった」と思う日が必ずきます。プライベートでも一医師としても成長し続けられるようにこの言葉を忘れずに過ごしていきたいと思えます。

最後までお読みいただきありがとうございました。



留学した際の写真です